

議会だより入善

GIRAI

DAYORI

NYUZEN



権蔵橋渡しぞめ

6月定例会

常任委員会レポート	2
特別委員会レポート	4
一般質問・町政を問う(11議員)	5
市町村合併ちゃ、どうなるがけえ~!!	17
傍聴席からひとこと・入善のむかし話	18

No.122

2002年7月27日
(平成14年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入善3255
☎0765(72)1100 ㊟0765(72)4711

暑中お見舞い申し上げます

常任委員会レポート

総務

中部清掃センター

早期の解決を

Q 中部清掃センターについて、地元住民の立場に立って解決に向け、取り組むべきではないか。

A 下水道の整備で搬入量が減ることは間違いないが、当面必要であろう。できれば新しい施設が望ましい。できるだけ早く解決したいと考えている。

宝くじ助成の基準は

Q 園家地区に宝くじ助成で公民館が建つが、この宝くじ助成について町の基準は何か。同時に町の補助は必要ないのでは。他の地区にもこの制度の周知を。

A 具体的な基準はないが、基本的には申し込み順である。今後、競合した場合は考えていく。

問われる出向職員

Q 職員に余裕があるから出

向させるのか。職員の出向はやめるべきである。雑入の出向職員負担金は、派遣先の事業を圧迫することにならないか。

A 職員の派遣は派遣先の要請に応じて実施している。また、派遣先の負担は、支払い方法が変わっただけであり、昨年と変わらない。



改善求める中部清掃センター

消防士の訓練

成果のPRを

Q 富山県下消防救助技術大会での優勝は日頃の訓練の成

果と思う。もっと町民にPRしては。消防士東近畿大会の派遣は何名か。

A 2チーム10名が参加する。また、留守部隊の職務負担も既存の予算での対応を考えている。

教育福祉環境

不安つのる

特養ホーム待機者

Q 特養ホーム待機者の入居は、今後、申し込み順でなく要介護度優先と聞いているがどうなるのか。

A 今後は国から緊急度、重度優先の指導があると思う。

プライバシーは守れるか 住民基本台帳システム

Q 8月から予定されている、住民基本台帳システムは国民総背番号制と同じではないか。

A ランダムなコードを市町村に割り振るので、居住地は特定できない。国がやるので

条例・規則

臨時会・定例会で議決された条例・規則は次のとおり。

○入善町税条例の一部を改正する条例 ▼可決

(主に株式譲渡に関する地方税法の改正に伴うもの)

○入善町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ▼可決

(主に株式譲渡に関する課税の特例を追加するもの)

○入善町在宅高齢者等生活支援事業条例の一部を改正する条例 ▼可決

(在宅支援事業の該当者を精神障害者にも拡大するもの)

○入善漁港管理条例の一部を改正する条例 ▼可決

(漁港法の改正に伴い字句を改正するもの)

なく、市町村間で協力して行うので若干意味が違う。

施設の利用状況は

Q 総合体育館、コスモホールの利用状況はどうか。

A 体育館は100%、コスモホールは52%の稼働率で県内では高い方である。



今後の運動公園整備は

Q 陸上競技場の改修は評価するが、特殊工事であり業者はどのように選定するのか。

今後の運動公園整備に関する町の基本姿勢はどうか。

A 業者の選定方法は、設計の段階で詰めたい。運動公園の大掛かりな整備は財政的に困難。当面は、陸上競技場を終えてから総合計画の中で行う。

産業 経済

甘さがないか深層水事業

Q 深層水蓄養施設の利用はどうなっているか。漁協に使う意志がないのでは。町の指導はどうなっているのか。

A 漁師の利用掘り起こしなど努力していく。また、どこに原因があるのか。他の活用も検討していきたい。

Q 養殖事業で町が批判を受けるのは得策ではない。何年後に黒字か。

A 深層水は町の大きな産業として取り組んだ。3年後くらいに漁協がひとり立ちできるようにしたい。

Q 漁協振興基金は養殖事業の赤字補填に使えるのか。

A 基金の2億5000万円は下水道に関連して使うのが原則。赤字補填の対象にはならない。

見直し求める

野外活動施設

Q 野外活動施設（野外ステーション）が荒れている。今後の維持管理や深層水事業と絡めた計画はないか。

A 天候に左右され、敬遠されがちである。今後はニーズの掘り起しが重要であり、園家山周辺を総合的に活用していきたい。

補助金の投資効果

の確認を

Q 農業関係への補助金について、農業の低コスト化につながっているか。どのように消費者に還元されているか、結果まで評価し報告をすべき。

A 水稻を中心に経営規模拡大、複合、体質の改善、設備投資などコストを下げるのが基本。前向きに検討していく。

今のままでいいのか

フラワーセンター

Q フラワーセンターの設立目的が現状と違ってきたのではないか。また温室も限界にきている。今後、総合計画でどう考えるのか。

A これまで何度か検討してきたが、小手先だけでなく、理念をしっかりとする必要があら。総合計画の中で現状をみて取り組んでいく。



○入善町文化活動振興基金条例
例
▼可決
（文化活動の振興のため基金を設置するもの）

○入善町体育施設条例の一部を改正する条例
▼可決
（総合体育館及び武道館の管理委託先を明記するもの）

【議員提出議案】

○入善町子ども基本条例
▼否決
（慎重審議すべきとして否決）

○「有法制3法」案の撤回を求める意見書について
▼否決
（慎重審議すべきとして否決）

○入善町議会会議規則の一部を改正する規則
▼可決
（議員派遣）について地方自治法が改正されたことに伴うもの）

特別委員会レポート

海洋深層水対策

Q 漁業者の間には、アワビ養殖で赤字が出るのではと不安があり、下水道の基金を当てにしている者もいるが、転用は可能なのか。

A 基金は漁業振興のためのものだが、今は養殖事業に当てるとは予定はない。

Q 養殖職員の給与半額分としての25万円もの補助の基準は何か。町の支援も必要だが、漁協みずからの努力を促すべき。

A 漁協には3年を目途に安定してほしい。25万円は漁協参事のものに基づいた。

Q 分水施設の利用状況と、深層水の今後の活用計画はどうか。

A 4月から分水が有料になり、利用者が若干減ったものの1日平均85人の客が訪れている。

企業誘致は鋭意進めており、健康増進施設は今後も検討していく。

Q 利用者から施設職員の接客態度に不満の声がある。売店の活用も含めて改善を。

下水道対策

Q 財政計画改定の要点は。

A 全体で22年かかる事業が18カ年と短縮した。

また、事業費は364億8000万円と70億5000万円減少した。

Q 財源の余った分を低所得者の減免にまわせないか。

A 検討したい。

Q 下水道水洗化率は。

A 公共22%、特環22%、農排56%となっている。

Q 7月以降の工事は。

A 公共下水道は8区、13区、美善町の一部。

特定環境保全下水道は上田、神林、道市、目川、木根、柳山新、田ノ又、春日。

農業集落排水は新屋地区を8月から公共下水道へ接続。

市町村合併調査

Q 他町では住民との対話集会を開催しているが、入善町はしないのか。しないのなら議会議員で対話集会を開催する。

A 区長連絡協議会との協議で、7月12日より各地区で対話集会を開催する。

Q 合併に対するわかりやすい資料が必要で、事前配布に何を出すのか。偏った資料配布は避けるべき。

A 2市3町で構成している新川地域合併研究会での統一したパンフレットを事前配布。パンフレットに沿った説明を行い反応を見たい。

Q 合併特例法の適用期限である平成17年3月、手続き等を鑑みると今年12月末まで結論が必要である。今後の予定は。

A 合併協議会の事務方と政治的なスケジュールがある。結論が出れば予定を立てることが出来るが、現段階では出来ない。住民説明会の結果を見て、今後の取り組みを示したい。

請願・陳情のゆくえ

- 安心の医療制度への抜本的改革を求め、負担増に反対する意見書採択等についての請願……採択
- 雇用の危機突破を求める意見書採択等についての請願……採択
- 町道小摺戸中坪線の一部拡幅改良に関する陳情……採択
- 町道下山島バス停線拡幅改良に関する陳情……採択

意見書の提出

地方自治法99条の規定により、国に意見書を提出。

- 道路特定財源の確保等に関する意見書
- 安心の医療制度への抜本改革を求め、負担増に反対する意見書
- 雇用の危機突破を求める意見書

農業委員5名を推薦

議会推薦の農業委員5名を推薦。今回入善町で初めての女性農業委員が誕生しました。委員の皆さんのご活躍を期待します。

- | | | | | |
|---------------------|-----------------|--------------------|-----------------|-----------------|
| 谷口一男
(産業経済常任委員長) | 北川和子
(女性農業士) | 藤田よしみ
(女性農業機械士) | 鍋嶋太郎
(認定農業士) | 矢木龍一
(青年農業士) |
|---------------------|-----------------|--------------------|-----------------|-----------------|

町政のここが聞きたい

ここが知りたい

(11人の議員が登壇)

谷口 一男 議員 (6 P)	空き家対策 ・マップ作成と、人口増や交流の場に ・農家民宿で過ごすグリーンツーリズムへの利用は ・公民館より小さな単位での地域づくりの展開を
上田 健次 議員 (7 P)	・特養ホームおあしす新川の増床を ・障害者福祉の充実を ・負釣山の一体的な整備を
上野 等 議員 (8 P)	・老人施設の不在者投票の在り方を民放2社が放映、 町選管委員長に番組の感想を
松田 俊弘 議員 (9 P)	・低入札価格調査の審議内容の公表を ・今後、施設での不在者投票の具体策は ・ケーブルテレビは業者主導で行われていないか ・被害を訴えている住民も排砂評価委員会に加えるべき
本多 幸男 議員 (10 P)	・ピーエフ・ジー社の町進出はどうなっているか ・巨費を投じた海洋深層水事業、タレ流し歳出では ・住民基本台帳ほか、町長の法的認識を問う
中瀬 範幸 議員 (11 P)	・町の緊急雇用対策の対応は ・役場内のワークシェアリングで雇用創出できないか ・ケーブルテレビの加入率向上に努めよ
大橋美椰子 議員 (12 P)	・市町村合併、する、しない、町民に十分な対応を ・「男女の出会いの場づくり」町の対応は ・来年4月改定の介護保険事業利用者負担は
西尾 政巳 議員 (13 P)	・予算中、人件費比率が県下一では ・スポーツ協会への支援強化を ・排砂による川魚の影響は ・学校5日制への対応は
山下 勇 議員 (14 P)	・住民代表を排砂評価委員会に加える働きを ・アワビ養殖の基本計画と見通しはどうか ・深層水で健康施設への発展を
九里 郁子 議員 (15 P)	・介護保険料・利用料の減免を ・夏休みこそ学童保育が必要 ・有事3法案をどう考えるか ・下水道の減免要綱をつくる考えはあるか
東狐 和 議員 (16 P)	・町民に期待される行政改革を ・老人保健福祉、介護保険事業計画の推進体制は ・痴呆性高齢家族へのやすらぎ支援事業の取り組みは ・グループホームの整備は ・ケアハウスの整備は

議会事務局に議事録があります

一般質問

第5回定例会

6月議会の一般質問は、17・18日の2日間にわたり行われた。市町村合併や海洋深層水、ケーブルテレビ事業など今後の厳しい財政状況のもとで町の独自性と決断力が問われる。
主な内容は次のとおりである。

(ここに掲載されている内容は個々の議員がその要旨をまとめた)

空き家対策をどのように考えていくか

谷口 一男 議員

町長

情報提供し、借りる人との橋渡しが先決

問 町には379戸の空き家がある。高齢者で一人暮らしの家も現在500戸近くあると推察され、これらの何割かは空き家予備軍である。

循環型社会の構築がいわれ、本年リサイクル法が変わり、空き家対策をどう考え取り組んでいくのか。

1、空き家マップを作成する
考えは

2、人口増につなげる対策は
3、三世代の交流の場としての考えは

4、野菜などを栽培して食農教育の実践、郷土料理の講習の考えは

米澤町長 人口増あるいは資源の有効利用の観点からも、再度の住宅としての利用が望ましい。

広報などを利用して貸家情報提供を呼びかけ、その情

報をインターネットを通じて全国に発信し、所有者との橋渡しをしていきたい。

事業展開については既存の施設や公民館があり、あえて空き家を利用する考えはなかなかのものか。

食農教育あるいは郷土料理などの事業については、世代間の伝統の継承やコミュニティの活性化という観点から、学校教育あるいは世代間交流事業などで活用していく。

グリーンツーリズムでの利用は

調査研究をしていく

問 空き家を利用したグリーンツーリズムの考え方を導入できないか。また地産地消を伸ばすならば、料理方法も知らなければならぬと思うが

どうか。
中島農業水産課長 最も有効な手段と考える。

空き家の諸条件、受け入れ態勢、世話をする人たちの受け皿が問題になる。これらを含め十分に調査研究をしていきたい。

地産地消については、今年6月に町、農協、生産者、消費者を中心として入善町地場産消費推進会議を設置し、まず学校給食から取り組んでいく。また、農業体験、郷土料理などを含め、食の認識を高めるために支援をしていく。

事業展開を小さな単位で出来ないか

検討していく

問 事業展開については地域



扇状地にグリーンツーリズムでの交流を

により温度差がある。町内一円の同一事業より、地域ごとに、自治公民館より小さな単位で展開できないか。

大木企画広報課長 定住促進対策の一環として取り組み、空き家情報提供を図ってい

く。総合計画では、15年度から定住促進の本格事業に取り組み、空き家調査など実態調査を行い、慎重に見極めていく。

小さな単位での地域づくりについても検討していく。

特養ホームおあしす新川の増床を 早急にすべきでないか

上田 健次 議員

町長 早い時期に増床に向けての協議をしたい

問 特別養護老人ホームの入所待機者総数は、2月現在実質135名、町外からの申し込みも40名くらい、待機者の中には要介護度3以上の重い人が53名おられる。今後ますます増えていくことは確実で、おあしす新川の増床を早急に計画、そして建設をすべきではないか。

町長 町内の特別養護老人ホームの入所定員が160名であることから、ほぼ同数の方が入所を待っており、入所までには非常に長い時間待たなければならぬ状況であり、これらの状況を勘案すると、特別養護老人ホームの増床の問題は避けて通れない問題である。特別養護老人ホームは介護保険施設で、増床などについては、介護保険事業計画に組み入れる必要がある。

現在、新川地域介護保険組合では、平成15年4月からの第2期介護保険事業計画を策定中。町民の特別養護老人ホームの入所希望が高いことから、次期介護保険事業計画の早い時期に増床に向けての協議をしたい。



増床が望まれる特養施設

児童障害者福祉の充実を 計画の中で検討したい

問 魚津市立「つくし学園」では、富山県児童相談所と連携をとりながら、心や身体発達に心配や知恵遅れのある幼児を、周辺の生活に慣れさせるため広域にわたって預かっている。通園など保護者の精神的な負担は図りしれない。

町の考えを。

上原健康福祉課長 心や身体に障害を持つ児童が健常児と共に集団生活することは、児童の成長の過程では重要な経験になると思う。障害児の通園、施設については、広域的な見地から判断すべきものと考えており、本年度策定の「入善町障害者福祉計画」の策定委員会の意見や、障害者本人、保護者の方々の要望をお聞きしながら、障害者の皆さんに明るい未来が開かれるよう努力を重ねていきたい。

負釣山の一体的な整備を 整備を進めていきたい

問 負釣山登山口の駐車場までの案内板は、分かりにくく道路は岩石がゴロゴロして歩いて歩くので大変である。

雨水水切りの対策、駐車場拡張の整備を進め、舟見山周辺一体をレジャー・スポーツを含む観光地としてPR活動はいいかがか。

飛田商工観光課長 「案内標識が分かりにくい」とか「駐車場がすぐに満車になり駐車できない」との苦情も多い。

近接地に駐車場を新たに確保することも来年度以降、検討していかなければならない。林道については、雨水により道路が削られるなど、路面状態の悪い箇所も見受けられるので、砂利などにより補修を行い、路面整備を進めていきたい。将来的には舟見山周辺を新たな観光ゾーンにするため、林野庁の森林居住環境整備事業などを導入することも検討していきたいと考えている。

富山県選挙管理委員会が裁決した 選挙無効裁定に関して

上野 等 議員

選管委員長

精一杯審理を尽くした

問 先月5月末に、民放2社が特集番組として老人施設の不在者投票の在り方を放送され、施設での利用者に対する接し方や現場の現状と問題点を提起していた。不在者投票のみならず、老人の人權、投票の権利の確保など様々な問題点が明らかになってきたが、町選挙管理委員長に番組の感想と、現在の見解を問う。

の確認は非常に難しい問題があり、当落が僅差であった場合には施設での不在者投票の在り方が問われるという課題を抱えている。町選管として精一杯審理を尽くした結果だったと今も思っている。

選挙権は国民に与えられた自由な権利

選挙権は国民に与えられた自由な権利の一つであり、基本的な人權や、あるいは人間の尊厳に関わる問題として捉えているが、その行使をする意思の確認が大きなネックになっていると報道番組で強く感じた。

秋田県はマニュアル体制

また、昨年の秋田県阿仁町の問題も番組は取り上げていた。どの様な方法で痴呆性老人の意思の確認をとればよいか、そして入所者の返事をどう判断すべきかについて、県がマニュアルを創ったとも報じている。施設関係者、選挙

上島選挙管理委員長 町選管の見解は現在、名古屋高裁金沢支部において、県の選挙管理委員会が出した裁決を取り消す訴訟も継続中で、現段階では見解を述べるのは適当ではないと思っている。

確認は非常に難しい

痴呆性老人の意志や判断力

続いて、報道されたものについて触れさせていただく。痴呆性老人の意思能力の判断、選挙に対する理解度を示す統一的な指針、あるいは基準がないために各施設においてそれぞれの判断で運営をしているというのが実状だと報道している。各施設においてそれぞれの判断、運用がまちまちであるために、不在者投票制



マレットゴルフ場オープン

の関係者が勉強会を開いているということだが、個々の具体的な判断になってくるとやはり課題が残っていると報じている。

この番組を見て、改めて痴

呆性老人の不在者投票についての、自由に表明する意思と投票する権利、あるいは人權、そしてこの権利を行使する機会の保証がいかに難しいかということを痛切に感じた。

低入札価格調査の審議内容公表を

松田 俊弘 議員

助役 個人情報もあるので公表は差し控えたい

問 今年度からの予定価格の事前公表は大いに評価するが、下水道工事で落札率が60%台の低い入札が3件あった。

最低制限価格80%を取り払ったことにより、ダンピングが懸念される。新たに設けた低入札価格調査の審議内容を公表すべき。

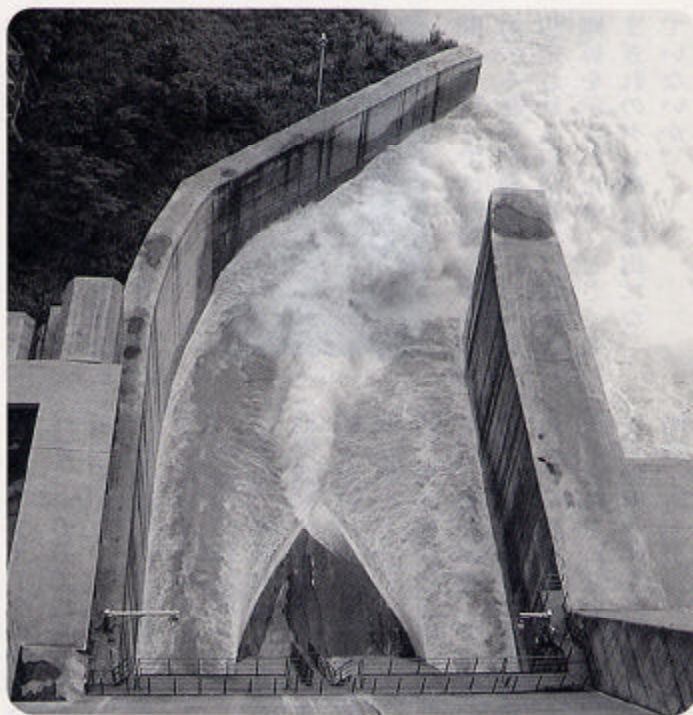
本本助役 13項目に渡り調査をしているが、個人情報に係る調査項目もあるので、審議内容の公表は差し控えたい。松田意見 せめて差し障りのないものは公表すべき。

今後の施設での不在者投票の具体的対策は

裁判結果の内容をみて検討したい

問 選挙管理委員長は3月議会で「今後は、このような問題がおきないように、選管も各施設の管理者も、十分県や国の指導、研修などを受けなければならぬ」としていたが、県選管とどのような協議をし、今後どのような対策をとるのか。

選挙管理委員長 県選管とはまだ協議をしていない。裁判



排砂ゲート開放中の宇奈月ダム

が終了してからその内容を参考にして対策を考える。松田意見 県や国レベルでの早急な統一基準や法を含めての態勢づくりが必要である。

ケーブルテレビは業者主導で行われていないか

広域圏で決定していく

問 採用された松下電器の提案は、いくつかの重要な施設

について、広域圏組合が求めていたものと異なっている。これでは業者主導ではないか。

12月までの整備は性急過ぎる。様々な問題を抱えており、白紙にもどすべき。

企画広報課長 施設については早急に広域圏で決定し、施業者者に指示する予定。業者主導を進めてはいない。

13年度の国の補正による補助事業で実施しており、制度上、本年12月末までに完了しなければならぬ。

被害を訴えている住民も排砂評価委員会に加えるべき

専門家による中立な機関であり、利害関係にある人にはなじまない

問 排砂での関西電力や国土交通省の「自然への影響は小さい」との主張は住民には納得しがたい。町及び国土交通省は排砂の調査結果について、議会や住民に定期的に分り易く説明すべき。

年に1回の排砂は、自然に近いやり方とは言えない。排砂方法の見直しを協議するために、被害を訴えている住民も排砂評価委員会に加えるべき。

浜田建設課長 調査結果は黒部工事事務所に来てもらえば説明するし、排砂評価委員会では専門家による中立な機関であり、利害関係にある人にはなじまない、国土交通省からうかがっている。

松田意見 当局の答弁は、関電や国土交通省の代弁としか思えない、住民の立場に立つべきである。

ピーエフ・ジー社の入善町進出はどうなっているか

本多 幸男 議員

町長 予定より遅れたが遅くとも来春には操業できる

問 町長は昨年10月、「ピーエフ・ジー」という会社が、平成14年3月に入善町で70人採用し、6月から営業を開始すると記者発表されたが、何の音沙汰もない。町民に対し、説明責任があると思うがその後どうなっているのか。

町長 当初の通信販売の代行業務だけでなく、ソフト事業の開発も行うことになり、遅れているが、遅くとも来春には操業を開始する。向う3年間で200名を採用するため、ハローワークとも協議している。

主な業務内容は、①受付や問い合わせ、サポート業務。

②ヘルプデスク（高齢者など操作が分からない人への応対業務）。③データエントリー（様々なデータの作成と加工業務）などである。建物は遊休施設を利用し、オフィスを300坪、1000台程度の駐車場などの立地条件を考えている。

巨費を投じた深層水事業 タレ流し歳出では

命をかけて頑張る

問 今日までの深層水事業に対する総事業費および、今後想定される事業並びに費用の概算を示されたい。どさくさまぎれのタレ流し歳出になっていないか。

鍋谷海洋深層水課長 当初計画に見込んでいた事業費は、ハード面では、取水、養殖などの各施設や道路整備など、総額14億3000万円余りである。ソフト事業では基本計画策定、フォーラム開催など総額3000万円余りとなっている。

今後は、活用施設の管理運営や深層水活用推進、アクセス道路の整備に取り組む。また、深層水利用企業の立地促進や、健康ウエルネス施設の整備についても積極的に取り組んでいく。

問 養殖施設の活用状況をはじめ、養殖事業、アワビの販売計画など多くの不安材料がある。巨費を投資した今や後戻りは許されない。町当局には不返転の決意を示されたい。

町長 町発展の起爆剤とも言

える夢のある事業として命をかけて頑張りたい。

住民基本台帳法ほか、 町長の法的認識を問う

法に基づき正確に把握 するよう指示している

問 住民の転入、転出をはじめ、正確な記録の責務が市町村長に課せられている。町長はいかなる認識をもって職務を遂行しているか。

町長 法に基づき正確に把握するよう指示している。

公選法第236条について詐欺登録すれば罰せられるのは当然であるが、詐欺になるのか、ならないのかは難しい問題だと思っている。



起業家よ、早く来い

厳しい雇用情勢の中で 町の緊急雇用対策は

中瀬 範幸 議員

町長 技術・技能者を登録し橋渡しを行う

問 依然として厳しい雇用情勢の中55才未満の失業者が増え問題となっている。町は実態を把握し、応急処置をとっているのか。緊急雇用対策をどう進めているのか。今後更にリストラが計画されると聞くと、その実態把握と対応策はいかなるものか。

町長 魚津管内の求職者は1575名、有効求人倍率は0.47倍で昨年より0.3ポイント悪化している。40%が55才未満であり、60%が配偶者を有する方で深刻である。応急処置として生活保護、生活安定資金の相談、並びに緊急雇用創出特別基金事業による雇用創出などを行っている。

緊急雇用対策として、国家資格、技能資格、熟練技術者などを登録していただき町施設での活用、各企業への紹介などを行う。また関係企業や団体と相談して合同面接会なども実施し雇用機会をつくりたい。

今後町内企業では、更に再編や生産拠点の移転など、厳しいリストラが予測され失業者の発生が懸念される。対応策として企業誘致、企業育成

に努めている。流通業の企業進出や、入善海洋深層水を利用した新規事業などの計画が進んでおり、雇用の創出につなげていきたい。

問 役場内の残業職場でワークシェアリングを行って雇用創出できないか。

町長 臨時で男子1名、パート1名を採用している。その他短期間であるが、公園管理、IT普及支援部門で10名の雇用を行っている。



ケーブルテレビのスタジオ

ケーブルテレビを早急にPRし加入率向上に努めよ

広報や各町内会の説明会で全世帯加入を目指す

問 新川広域圏で進めるケーブルテレビ事業は、当初予算より7億円も下回り15%減額となったが理由は何か。まずは技術革新が進む中、設備費削減ですぐ陳腐化しないか。また加入世帯数が採算性を左右するが何%の加入率で見ているのか。加入率を上げる

ためにも早急にPRを進め、ケーブルテレビの効能を町民に説明せよ。

企画広報課長 施工業者松下電器が、通信技術とケーブル伝送技術に革新技術を盛り込み減額となった。またブロードバンド革命が進む中、将来の技術革新にも十分耐え得る設備と評価している。

次に採算加入率は40%と試算している。広報7月号にはPR第一報を出すとともに、地域コミュニティ放送、議会中継、防災情報、インターネットなど町民のための便利さを、全職員が一丸となって説明会などを開き、加入促進活動を展開する。

問 町民のケーブルテレビ加入のメリットと、加入し易い具体的方策は。

町長 アンテナやBS、WAWAUのチューナーなどの設備が不要となる。利用料もエコノミー、多チャンネルと2段階を考え安価となる。また当初、工事費無料で全世帯に配線し、試験放送を体験していただき、不要な世帯は外すと云った方法も検討している。

市町村合併、する、しない、町民に十分な対応を

大橋 美椰子 議員

町長

7月中旬より出向き、10校下で合併懇談会を開催

問 庁内合併研究会とは。

町長 助役を中心に各課長で設置。する場合、しない場合など様々な角度・観点から担当課の課題・問題点を掘り起こし、調査研究を行う。併せて職員の合併に対する認識を深める。

問 「合併するなら2市3町」と町民の意見も聞いていないのに明言した。その根拠はなにか。合併したくない意見への対応はできるのか。

町長 歴史的、地域的、経済的なつながりやまとまりがある。すでに広域圏事務組合で広域行政を実施、これが大きな要素。県、新川地域合併研究会などが、2市3町共同でこの問題に取り組んでいる。

5月26日、黒部でのパネルディスカッションで、他の首長も、基本的には2市3町が

望ましいとの発言があった。

私自身も合併するなら2市3町が望ましい。したくない意見を十分聴き、説明を申し上げ対応する。

問 意見交換は従来の町政懇談会形式でと言われたが、別にすべき。

町長 町の将来に大きく関わる重要な問題。町民とのコンセンサスを得るのが大切。

従来の懇談会とは別に、合併懇談会として、私自身出向き先ずは校下単位で行う。

合併する、しない、いずれにしても町民の皆様の見解を

聞き、議会とも十分相談して進めるのが肝心。

「男女の出会いの場づくり」

町の対応は

総務課で対応するよう指示

問 県の実施要綱に男女の出会いの場づくり事業実施主体は町とある。どう対応するのか。

扇原総務課長 結婚相談問題はプライバシーに関わり、町が関与するにはなじまない。

しかし町の将来を考えると放っておけない。JA入善町の相談員との協力、イベント企画への協力など総務課で対応し支援する。県は少子高齢化対策推進事業で対応。委託などもあり、関係者が自主的に進めることも重要。

来年4月改定の介護保険事業の利用者負担は

負担は上がる

問 訪問介護は現行の3区分を2区分にとある。また介護タクシーとは。各内容は。

健康福祉課長 身体介護、家事援助、複合型の3区分の複合型を廃す。従来の家事援助を家事労働の肩代わりでなく高齢者の自立を支援するサービスと位置づけ、生活支援とし、身体介護との2区分にする。特に事業者側から低いとされる家事援助の報酬額の引き上げを検討中。利用者負担1割のままであれば利用者の負担も上がる。介護タクシーは資格を持つ運転手が乗り降りの介助を行うことにより介護報酬を得る。



始まった合併懇談会

予算の中、人件費比率が県下一では

西尾 政巳 議員

総務課長

平均年齢が46歳と高いため

問 入善町の子算は100億円であり、人件費比率を1%下げると1億円の事業ができる。同じ規模の福光町と入善町の差は率で12ポイント、金額では10億円の差があるが、総務課長 入善町は他町に比べて私立幼稚園が少なく学校給食がセンター方式でないなど職員が多い。福光町や上市町では、病院建設費、病院会計繰出金など含まれており、一概に比較できない要素もある。

スポーツ協会への支援強化を

住民が中心の総合型スポーツクラブの醸成が待たれる

問 スポーツの振興というが各地区体協へは年2万5000円の補助で、種目別の協会への補助は2万円である。あまりに低額でないか。今後のスポーツ振興策を問う。
金森生涯学習・スポーツ課長 増額に努力する。豊かなスポーツライフを送ることができ環境整備に取り組みたい。今後は、地域住民が望むス

ポーツを自由に楽しむことができるよう、地域で住民が中心となる総合型のスポーツクラブの醸成が待たれている。

熊坂トンネルの再開の用途は

用途は立っていない

問 熊坂トンネルは現在通行止めになっているが、再開の用途はどうか。

町長 トンネル整備には3億円かかり新たな補助がないため、用途は立っていない。今後は経費の安価な別途工法を模索していく。

排砂による川魚への影響は

放流鮎が再遡上できない

問 宇奈月ダムと出し平ダムの連携排砂が及ぼす川魚への影響はどうか。

建設課長 川虫も流されカジカ、アユカケが減少しているし、アユも大半が海に流され、放流アユは再遡上できないと聞いている。国土交通省では、本年度福島地先の黒東合口用水路の放流口付近にアユの避



再開用途のたたない熊坂トンネル

難施設を施行中である。今後も数カ所の避難施設を考えていると聞いている。今後約10年近くは、出し平ダムからの排砂された土砂も、ほとんど宇奈月ダムに堆積するものと考えられる。

学校五日制への対応は

学校、地域、家庭が一体となって対応すべき

問 県では①社会教育②社会体育③社会奉仕の3点のメニ

ユーを考えているとのことだが、具体的にはどのようなことをするのか。
米島教育長 ①社会教育としては公民館活動、地域行事、文化活動への参加。②社会体育としては、住民スポーツ大会への参加、少年スポーツクラブ育成。③社会奉仕としては、環境保護活動、福祉活動などを地域や年齢、学校を越えた人々とともに進めることを行うことが考えられる。

住民代表を排砂評価委員に加える働きかけを

山下 勇 議員

町長 各分野の専門家に委員をお願いしている

問 町長は3万町民を代表した評価委員であり、生活被害を受ける側の声を聞いてほしい。さらに地域住民代表を評価委員に加えるように発言を要請する。

町長 地元首長、県関係者で構成されている協議会の開催の前には、漁業関係団体などに事前に説明している。地域住民の意見は個々の関係機関、団体に説明し意見を聞く段階において反映されている。委員会は科学的根拠を重視する中立的立場と理解している。

問 以前からの漁業補償は解決したのか。ヘドロ調査など終了したのか。
町長 関西電力と県漁連との間はすべて解決済みである。

アワビ養殖の基本計画と見通しはどうか

2年目から黒字の見通し

問 アワビ養殖事業がスタートしたが、漁協が事業主体という基本計画は大切。漁民の中には、町からの押しつけと思っている者もいる。リスク対策も含め基本的な考えを明らかにせよ。

助役 この事業には組合関係者と様々な角度から議論を重ねてきた。

本格出荷が始まる2年目から黒字に転じると見込んでいます。1年間かけてみなければわからないが、当初よりコストは低いようなので、市場の開拓は出来るのではと考えている。この事業は水産業の振



始まったアワビの養殖

興と組合員の利益につなげるべきであり、全力を投球すべきと思う。

問 浄化センターによる漁業振興基金2億5000万円の養殖事業への運用は考えられるか。

助役 下水道の関係であり、現在のところそれを目的とはしていない。

問 町と漁協の深層水施設運営の責任分担を明確にせよ。
助役 取水及び供給施設は町のもので養殖施設は漁協のも

のである。

深層水で健康施設への発展を

研究を重ねている

問 深層水を活かした健康施設構想など、広く町民の英知を集めることはできないか。高齢化が進み特養ホームの増床が求められているなか、一人でも多くの健康を守ることが大切で、海洋深層水を活かさないか。

助役 ウエルネス構想は町だけの財源でつくることは難しい。民間主導型の事業で行う方法があり、担当の課で考えている。海洋深層水は入善町の顔であり、町民の英知を集めて成功させたい。

介護保険の保険料・利用料の減免を

九里 郁子 議員

健康福祉課長

5段階を6段階にして 低所得者に配慮可能か検討したい

問 高齢者に負担が大きい介護保険の保険料や利用料の減免制度をどう考えているか。
満杯状態で希望どおり利用できないデイスサービスの現状を早急に解消する打開策を検討しているか。

健康福祉課長 来年度から実施の介護保険計画を策定中であり、現行の5段階を6段階にして、低所得者に配慮できないか検討したい。

社会福祉法人などに働きかけ、デイスサービス実施希望があれば協力や支援をしていきたい。

夏休みこそ学童保育が必要

児童館や公民館活動など
地域や学校の協力で

問 町内の小学校3年生までの子どもを持つ母親の80%が働いている。学童保育は、働きながら子育てをする母親の切実な要求である。

今年度、飯野地区で開設されたが夏休みは実施の計画がない。長い夏休みこそ必要。対策を考えているか。

指導員の賃金は、県の最低

賃金よりも低い。妥当と考えているのか。

すべての校下に児童館やミニ児童館を設置する考えはあるか。

生涯学習・スポーツ課長

児童館や公民館行事に参加しやすいように関係方面や教員に協力をお願いしている。

飯野地区はモデルケース。地区各種団体の協力で、学童保育運営協議会を結成した。

指導員の賃金など、近隣市町の状況、内容を調査し、検

討しながら進めたい。

各地区公民館をミニ児童館として開放するために、改修や整備は必要と思う。

有事3法案をどう考えるか

いま急いで法制化するべきでない

問 すべての国民と地方自治体に、戦争への協力を義務づけ、命令違反者には罰則を科すとしている有事3法案は、



飯野地区でも始まった学童保育

他国と戦争をしないと定めた憲法に違反し、国民の人権と生命、財産、地方自治体への侵害は明らかである。町長はどのように考えているか。
町長 時間をかけ国民の理解が得られるものをお願いしている。いま、急いで法制化するべきではない。

下水道の減免要綱をつくる考えはあるか

特に考えていない

問 下水道財政計画の見直しの結果、全体事業費が70億円以上安くなる。加入を促進するためにも、この大幅な減額を生かし、低所得者に対する減免制度をつくる考えはあるか。

一人暮らしの高齢者のなかには、将来的に不要な人もある。公共マスへの接続を強制してはならない。

西川下水道課長 減免については、当面、条例どおりを進めるが、低所得者本人あるいは民生委員と相談しながら、実態を把握し進めたい。公共マスへの接続はその都度、本人と相談の上進めたい。

町民に期待される行政改革を

東 狐 和 議員

町長

接遇改善に努力

問 長びく不況で地元の基幹産業NEC、YKKなどはコストダウンやリストラを様々な手段や方法をとり入れ断行している。町内には数百名余りの求職者がいる。

町においては合理性、サービス向上、研修、意識改革をどのようにしているか。

町長 接遇指導者養成コースを受講した職員が講師として指導に当たり、庁内窓口担当



笑顔で接する窓口職員

の接遇サークルを設けて改善に努めている。

高齢者福祉施策の推進を

概ね計画どおり進む

問 老人保健福祉計画、介護保険事業計画の推進体制は。

助役 前者の計画は5年を一期とし、現在16年度までの計画を策定。介護保険事業計画は、新川介護保険組合で策定し、3年ごとに見直す。概ね計画どおりに進んでいる。

痴呆性高齢者家族へのやすらぎ支援事業を

検討したい

問 入善町の痴呆性高齢者の

家族の心労は、はかりしれないものがある。家族へのやすらぎ支援事業の取り組みは。

助役 支援員の養成を協議しながら、痴呆性高齢者の対策を検討したい。

グループホームの整備は

「こぶしの庭」が15年度に整備計画があり協力したい

問 在宅では支えきれないお年寄りや障害者が、地域の中で自分らしく暮らし続けることを支援するグループホームの整備の必要に迫られているが対策は。

助役 町では老人保健施設「こぶしの庭」を運営する医療法人藤聖会で、平成15年度に9人定員の2ユニットの整

備計画があり、協力したい。

ケアハウスの整備は

シルバーハウジングを20戸整備の予定

問 町では今ひとり暮らしの高齢者が増えているが、ケアハウスの整備は。

助役 現在東町住宅の建て替え事業の中で、シルバーハウジングを20戸整備予定だ。

教育問題「学力絶対評価」の導入について

問 高校入試内申書「学力絶対評価」の導入で入学選抜が適正に行われるのか。

教育長 県教委も生徒や保護者の不安を招かぬよう検討する。

市町村合併ちゃ、どうなるがけえ～!!

町の将来に大きく関わる重要な問題である市町村合併。町民とのコンセンサスを得るため、町では従来の町づくり懇談会とは別に、合併懇談会として7月12日～8月8日まで、校下単位での懇談会を開始します。

各校下で開催された懇談会での質問や答弁など主なものを、Q&Aでお知らせいたします。

Q 17年3月までに合併しなくては行けないと聞くが、町将来のことを考えて合併をどう考えているのか、町の考えははっきりしているのか。

A 町ではまだはっきりしていない。皆さんの意見を聞いて決断したい。

Q 合併しなくてもやっていけるのか。

A 住民の覚悟次第である。合併しなくてもいいとの声が多ければ合併しない。

Q 企業が合併するとき財務調整がある、豊かなところと、そうでないところの合併において財務調整はどうなるのか。

A 対等合併となる。基本的には、豊かなところが厳しいところを応援する形になる。



Q 下水工事の完了は10年後と聞くが、工事が遅れるのではないかと。また、知らない業者が近くで工事をするのではないかと。

A 町が計画しているので、計画どおりすすむであろう。工事発注者が住民に不安を与えないように気をつけていきたい。

Q 他の市、町の借金と1人当たりの額は。

市、町	入善	朝日	宇奈月	黒部	魚津
借金額 (億円)	124	96	53	225	209
1人当たり (万円)	44	60	81	61	44

Q 国の財政危機から小さい自治体を潰していくということだと思ふ。分からないことが多すぎるので、町は考えうるメリット、デメリットを全て導き出して町民に説明すべき。昭和の大合併での生みの苦しみを聞いている。

A 一般的なことだが、入善町は人口でも地理的にも真中に位置している。入善町のおかれている立場は微妙。基金は多い方で借金は少ない方。今後はもう少しデータをそろえて説明していく。

合併に対する皆様のご意見をお寄せ下さい。

《連絡先》 入善町役場 議会事務局 入善町入膳3255 TEL72-1100 FAX72-4711
E-mail: gikai@town.nyuzen.toyama.jp

傍聴席からついでに

(役場の新人が議会を傍聴)



健康福祉課 主事補
扇原 有希子

初めての議会傍聴に緊張しながらも、いったいどんな質問が飛び出すのかと興味深く聞いていました。

質問の内容は大変鋭いものが多く、そのまま住民の声であると感じました。

中でも、町村合併や職員問題には特に興味を持ちました。合併することのメリットやデメリットなど、慎重に考えることが大事であるのに、その時間もあまりないといった現状には危機を感じました。

政治無関心が叫ばれる中、驚くほど傍聴席が埋まっており、住民の政治に対する期待や興味の強さがうかがえました。

この経験を生かして住民の

ニーズにあった仕事を行えるよう、努力していきたいと思っています。



総務課 主事補
小摺戸 昭洋

傍聴して感じたことは、同じ問題であっても、別の視点に立つと違った捉え方になることです。議員の質問と役場側の答弁は、どちらも町の将来を考えてのものでしたが、視点の違いが意見の違いとなり、活発な議論につながっていました。

偏った行政に陥ることを防ぐ意味で、議会の存在はとっても重要だと思えます。私も役場で働く以上、広い視野に立ち、町のために仕事をしていきたいと感じました。

入善むかし話 (森清松編より)

宿場町であった舟見

いまから三百五十六年前(元和九年)には、舟見の家数は四十八戸でした。

道の両側に二十四戸ずつならば、南のはしに氏神さま、北のはしには雲龍寺がありました。

三百七十年前(寛文二年)に、愛本橋ができたが、浦山と舟見の二か所が宿場にきめられました。

そして、本陣をおき、ちらばっていた家を集めて宿場ができあがったのです。

本陣は、宿場の中でいちばんよい宿です。そこへは、大名、家老、幕府の使者などがとまりました。殿様の部屋を守るための武者かくしの間、使者の間、武者だまりなどがありました。

参勤交代の行列が近づくと、先ぶれがあり、宿場役人のさしずで街道はきれいにはき清められています。そして、村役人は、麻の上下をつけて村はずれまでお迎えにいきました。

やがて、

「下にー、下にー。」

という、先払いの声を先頭に行列が通ります。人々は、家の前の道にすわって頭をさげねばなりません。

本陣におつきになると、前庭に白を持ち出し、六、七人の男たちが、杵の音も高らかに「まんかん餅」をついたといいます。

また、殿様をおなぐさめするために、太鼓をにぎやかに打ち鳴らしました。それが「舟見本陣太鼓」のはじまりです。

編集の窓

世界が湧いたサッカーワールドカップ。日韓同時開催となり、相互間の理解も深まった大会だった。表彰式では、全国の子供たちが平和への願いを込めて折った270万羽の鶴が舞い降り、感動を呼んだ。

さて編集委員会では、今回から各委員会での質疑の内容を重視し、分かりやすく伝えるために、委員と当局のやり取りをQ&Aの形式でまとめた。

皆さんからのご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 元島 正隆 |
| 副委員長 | 松田 俊弘 |
| 委員 | 上田 健次 |
| 〃 | 大橋美椰子 |
| 〃 | 谷口 一男 |
| 〃 | 上野 等 |

地球にやさしい再生紙を使用しています